来て・観て・住んで ホッと あったか“とちぎ”

渡良瀬遊水地の象徴とも呼ぶべき谷中湖の形に合わせて作られた熱気球「ハートランド号」。ハートの形をした熱気球は国内初

栃木市と岩舟町は４月５日合併し、新しい「栃木市」としてスタートします。風情漂う蔵の街に加え、趣きある自然景観や特色ある農産物など、ますます魅力あふれる栃木市へと生まれ変わります。

「あちこちのイベントで新しい栃木市をＰＲするね！」
とち介

３月28日に発表した、新しい栃木市のマスコットキャラクター。その名も「とち介（すけ）」。蔵のずきんとマントを着こなし、キョトンとした表情にいやされます。

栃木市 合併 4月5日 岩舟町

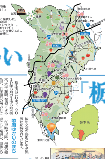
新しい「栃木市」誕生

存在感ある街目指し飛躍

栃木市・岩舟町合併協議会
会長　鈴木　俊美（すずき　としみ）

４月５日栃木市と岩舟町は、新しい「栃木市」としての第一歩を踏み出すことになります。振り返ってみますと、平成23年４月の栃木市・岩舟町合併協議会設置以来、現在まで３年という期間はかかりましたが、相互の信頼と真摯な取り組みにより順調に協議が進み、昨年２月には合併協定調印、さらには、総務大臣の告示による合併の確定へと着実に歩んでまいりました。これもひとえに多大なるご尽力をいただきました合併協議会委員の皆様、そして、何よりも両市町民の皆様からの温かいご支援の賜物でありますことを心から感謝申し上げます。

今後は市民の皆様の手により、それぞれの地域で継承されてきた歴史や文化・伝統・産業などの様々な魅力的な資産を守り、今まで以上に育てていただくことはもちろん、それらを融合することにより更にパワーアップした新たな資源を十分に生かし、存在感のあるまち、誇れる郷土として新しい「栃木市」を育てて行きたいと思います。



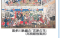
「蔵の街」と巴波川。昨年の「歌麿まつり」

栃木市はこれまで、2010年３月の１市３町（栃木、大平、藤岡、都賀）による合併、11年10月の西方町との合併を経てきました。今回の合併で人口は約16万４千人と県内第３位、面積は県内８位と、より存在感のある都市となります。

交通網は、ＪＲ両毛線、東武日光線・宇都宮線に13駅を擁します。高速道路は、東北自動車道、北関東自動車道が縦横に走り、佐野藤岡、栃木、都賀の三つのインターチェンジがあります。今後も交通の要衝としての発展が期待されています。

歌麿ゆかりのまち

江戸時代以降、舟運の拠点として発展し、黒塗りの見世蔵や白壁の土蔵などの街並みが残っています。また浮世絵師・喜多川歌麿ゆかりの地でもあり、「女達磨図」「鍾馗図」「三福神の相撲図」の肉筆画３幅を市が所蔵するとともに、市内豪商が歌麿に依頼し描かれたと言われる浮世絵大作「品川の月」「吉原の花」の高精細複製画を制作し、歴史情緒あふれる街並み、歴史的景観など文化・芸術によるまちづくりに役立てています。



喜多川歌麿の「吉原の花」（高精細複製画）

「賢明な利用」促進

市南部の「渡良瀬遊水地」は、2012年にラムサール条約湿地に登録されました。広大なヨシ原には、多数の動植物が生息し、貴重な生態系を観察することができます。また、遊水地の豊かな自然を生かして、スカイスポーツやウオータースポーツ、サイクリングなども盛んです。本来の目的である「治水機能の保全・再生」と、「貴重な自然環境の保全」、そしてスポーツ・観光振興という三つの調和を図りながら、地域が一体となって「賢明な利用」を創造しています。

毎年恒例となった「岩船山クリフステージ」

人の輪生かし振興

岩舟地域の中央にある「岩船山」は、霊山としても名高く、採石された「岩船石」は、かつてかまどや石垣などに使われていました。その採石場の景観を生かし、1999（平成11）年から開催されている野外コンサート「岩船山クリフステージ」は、毎年恒例です。自然と人の輪を一つにし、明るい豊かな地域づくりが進められています。

また岩舟地域、藤岡地域にまたがる三毳山は、万葉集にも詠まれ、県内最大規模の都市公園「みかも山公園」は多くのハイカーや家族連れに親しまれています。周辺には、道の駅みかも、いわふねフルーツパーク、花センターなどの観光施設が点在。特にフルーツパークのイチゴ狩り、ぶどう狩り、梨狩りなどは観光客に好評です。

いわふねフルーツパークのぶどう園

新たな挑戦への出発点

栃木市・岩舟町合併協議会
副会長　市村　隆（いちむら　たかし）

念願でありました栃木市との合併を、間もなく迎える時がまいります。これまでご協力いただきました両市町の皆様や関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。

申すまでもなく、市町村合併は「合併すること」が目的ではなく、互いの優れたまちづくりを基盤に、新しいまちづくりに挑戦していくための出発点であり、地域に新たな活力を生み出す第一歩であります。

岩舟町は、町名の由来ともなった霊山として名高い岩船山やハイカーの心を魅了する三毳山などの恵まれた自然景観、また、県内屈指の生産量を誇るぶどうをはじめ、イチゴ、梨など良質な農産物の産地であります。

今後、これら地域の貴重な資源と栃木市の持つ豊かな自然の恵みや恵まれた歴史・文化、産業など豊富な地域資源を融合し、新たな魅力を引き出しながら出来る限り活用することで、新しい「栃木市」が飛躍的に発展するものと確信しております。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

・人　口　16万4024人
・世帯数　5万6489世帯
・面　積　331.57平方㌔㍍
南北約33.1㌔㍍、東西約22.3㌔㍍
・市役所　栃木市万町9-25
☎0282-22-3535（代表）
http://www.city.tochigi.lg.jp
※人口、世帯数は平成22年現在

（企画・制作　下野新聞社営業局）